
本当はね

志内炎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本当はね

【Nコード】

N3499C

【作者名】

志内炎

【あらすじ】

恋愛初期なんて、いくつになってもおんなじ。とめどないラブレター。

(前書き)

この小説は完全なフィクションです

「帰らないで」

タクシーを先に下りるあなたの背中に言いたかった。

「離れたくない」

まるで初めて成就した恋のようにせつない。

それはまるで十代の頃のような気持ちなのに、参議院の被選挙権をもらってからさえ久しい私たちを引き裂くものは、私の家で高野で眠る母だったり、あなたが入っている寮の入口にある『関係者以外立入禁止』の赤い文字だったりと、現実的過ぎて悲しい。

「もつと早くに出会っていれば」

あなたはそう言った。その理由も、もつとまともな生活をしてたかも知れないなんて、きつと二十年前には考えなかつた事。

「今まで付き合ってきた人はいろんな事、助言してくれなかつた」
そうなの？なんて流してみたけど、本当はその彼女たちの気持ちもわかるんだ。

あなたは恵まれすぎている。

『おじさん』と呼ばれる歳になつても充分に男前。若い頃はそれはもてたでしょう。誰にでも可愛がられる人好きする性格も、そういう雰囲気も、今だから身についたものじゃないはず。

そんな自慢の彼氏に不満なんか言えない。

お酒は控えて。

飲むのに車乗っていかないで。

ギャンブルなんて儲からないのよ。

どこに行くの？

もつと私だけを見て。

そんな事言つたらきつと嫌われる。あなたのそばにいられるのなら、小さな事には目をつぶる。好きだから……

若い彼女たちが考えた事、よくわかる。

私だつてこの歳になつたから、やつと見える事もあるのよ。
あなたがひどく不器用な事。

恥ずかしがり屋な事。

昔の自分に戻りたくて、絶対に戻りたくない事……

私たちはセックスと紙一重でいて一番遠い世界でアルコールと金にまみれて生きてきた。今でもどこか抜け出せないでいる。

それは私たちの誇りでもあるし、どこか汚点でもある事に気付いている。

壊れてしまった金銭感覚や排他的な生き方は、そんなにすぐに変わらない。繋がつてしまった人間関係を解消するには勇気がいる。

そして私たちみたいに、どっぷりと下流社会から見上げている人間に限つて、形にこだわる。

もっとゆつくり知り合つてから。

もっと生活が安定してから。

もっと大人になつてから。

いつくるかわからない『もっと』を数える。まるで意味がない事と知りながら、それが上への唯一の階段のようにこだわり続ける。

人生は長い。

でも思つてるより短い。

だから私は小言をいい続ける。

いつまでもそばにいたいから。

あなたを大切に思うから。

あなたがあなたを大切にしたいから。

これから先、私たちがどんなふうに着をとつていくのか、どんな問題にぶち当たつて、どんなふうに着についていくのか、まるで十代みたいな私たちには想像も出来ない。

ただね。

あなたが辛い時に、となりで馬鹿な話をしていたい。あなたは何も話さなくていいよ。言いたくないなら言わなくていい。言いたくなつたら言えばいい。

「もっと早くに出会ってたら、きっと付き合ってたよ」
はぐらかしてみたけど。

本当はね。

多分、五年前でも十年前でも、そして十年後だったとしても、私はあなたに恋をした。

私なんてちつぽけ過ぎて、何にも持ってなさすぎて、何にもしてあげられないけど。

愛してるって言葉さえ、まだ上手に伝えられないけれど。

本当はね。

まだ誰からも呼ばれた事のない特別な名前で、呼ばれる日がくればいいなって思ってる。

でも本当はね。

なんの約束がなくても、もう私はあなただけのものなんだ。

だから本当はね。

(後書き)

不完全さともめどなさを表現したかった作品です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3499c/>

本当はね

2010年10月11日23時33分発行